

森林環境保全基金運営委員による令和2年度森林環境税活用事業評価(令和3年7月29日実施)の集計及び総合評価(案)

事業No.	資料ページ	1	公益林保全整備事業(木材増産推進課)	R2事業費	14,185 千円
R2-1	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	3	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容と重複するような所があるので中身を絞って支援してはどうか。(R2-2、R2-3も同様) <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2-1～3の現状や課題が重複し、かつ、わかりづらい点が気になっています。全体を俯瞰できる資料を作成いただけたら話もお聞きしたように思います。この点は今後の座談会への準備も含めて、早めにご対応頂ければ幸いです。 また、未達成を含めて、その原因を明らかにして、今後の事業の改善を図るという点もこの3つには共通しているように思われます。その意味で「改善のうえ継続」としました。(R2-2、R2-3も同様) 		
	○ 事業を拡大	0	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度のシート②の⑨ Iに記載されている説明で、「補助事業に関する要望等の反映や、事業実施に関する指導を行うこと等を考慮すると、より現場に近い市町村を経由して補助事業を進める方式が効率的である」とあるが、市町村における林業部門での指導力の格差が顕著であることは、近年特に問題になっているところである。その実態を前提にして、市町村を経由させるという判断を継続させるということは、地域間格差を放置することにつながる可能性があり、懸念するところである。市町村間の指導格差の是正、また、近年の情報化社会において、各種申請手続きのWeb利用が進んでいることに合わせ、林業補助事業においても申請者によるWeb入力の導入を検討すべきではないか。当然ながら、林業事業体における事務能力の向上指導も欠かせない取り組みである。 		
	○ 事業を縮小	0	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等に対する補助金メニューが多くあるのはいいが、そもそも所有林をどう管理すればいいのか、どのような選択肢があるのかすら、一般の小規模所有者や不在村山主にはわからない。間伐など手入れを継続していくのか、手放して売却したり管理を委託するのか、林業以外の活用方法があるのか、といった選択肢を示す必要がある。そのためには、単に間伐補助金のメニューを配布するだけでなく、山林の管理や活用に関するなんでも相談窓口を設ける、相談会を開催するなど、森林管理について考えプロに相談できる機会が必要と考える。 		
	○ 休廃止を検討	0	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐への補助は今後、譲与税が担っていく部分が大きいと思われるため、県としてはソフト面でのサポート制度に力を入れるべきではないか。 また山林管理を個人の資産運用ととらえて、FPや銀行などとの連携も視野に。環境フェアなどイベントにおいて相談コーナーを設ける、「もりりん」で特集を組む(森林管理について相談してみた、体験談記事)、WEBやLINEでの窓口整備、なども検討していただきたい。 		
● 改善のうえ継続	4	<ul style="list-style-type: none"> ・譲与税との差別化に伴い、すでに模索されている、これまでの県のビジョンにそった市町村への支援の充実のため、改善の上、継続としました。(R2-2、R2-3も同様) 			
事業No.	資料ページ	3	みどりの環境整備支援事業(木材増産推進課)	R2事業費	11,105 千円
R2-2	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	4	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、事業費と要望額との間に大差が出来ているわけではないが、今後、皆伐傾向を背景として出現する再造林地帯にどう対処するかを考える必要がある。これについては、優先順位の検討を開始するよう要望する。 		
	○ 事業を拡大	0			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
● 改善のうえ継続	3				
事業No.	資料ページ	5	造林事業[環境林整備事業](木材増産推進課)	R2事業費	10,271 千円
R2-3	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	3	<p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請の過程で「3者協定」を課しているが、協定締結の必要性は高くないのではないかと。事業を円滑に遂行できる事業体であれば、認定事業体を指定するなど、他の簡易で効率的な手段が考えられる。 		
	○ 事業を拡大	0			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
● 改善のうえ継続	4				

事業No.	資料ページ	7	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費補助金(林業環境政策課)	R2事業費	6,637 千円
R2-4	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	6	【現状のまま継続】とした意見 ・国との関係でどのように補助金が使われているかがわかりにくい部分があります。また、ボランティアの方の活動実態と合わせて検討するような視点で整理することが肝要ではないかと思いません。		
	○ 事業を拡大	0	・森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業は、県内の様々な背景を持つ活動団体を森林整備に巻き込むことに成功した事業である。この点において、県の上乗せ補助による支援の意義は大きい。ただし、制度変更に伴い、活動継続が難しくなる可能性は低くなく、活動の萌芽を育てるべく、細やかな支援が必要であることは総合評価に示された通りである。交流人口に関わることであれば、県の交流支援事業(他課のものも含めて)や、県主催の外部者との交流イベントなどでの各種の機会を活用できるように活動団体に情報発信するなど、活動できる場の構築支援の可能性を検討していただきたい。		
	○ 事業を縮小	0	・里山林は森林環境譲与税でカバーしない領域かと思うので、何らかの支援継続は必要。		
	○ 休廃止を検討	0	【改善のうえ継続】とした意見 ・譲与税との差別化に伴い、すでに模索されている、これまでの県のビジョンにそった市町村への支援の充実のため、改善の上、継続としました。		
	● 改善のうえ継続	1			
事業No.	資料ページ	9	指定管理鳥獣捕獲等事業委託料(鳥獣対策課)	R2事業費	5,709 千円
R2-5-1	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	4	【現状のまま継続】とした意見 ・獣害が深刻な中で、市民による森林地域への立ち入り機会が高齢化や遊興の変化によって減少していることは、野生鳥獣のテリトリー強化を意味する。このような背景において、奥地まで人が入り野生鳥獣のテリトリーを攪乱し、頭数さえも削減させることは非常に重要な活動である。また、当事業は毎回、前回の反省に立った改良を加えて実施されており、天候などの困難な状態が起こりつつも、徐々に成果を上げてきている。関係団体においても、このような意欲的な県職員の姿勢に触れる中で、高いモチベーションで取り組めるものと思う。このままの姿勢で今後も取り組んでいただきたい。		
	● 事業を拡大	1			
	○ 事業を縮小	0	【事業を拡大】とした意見 ・猟師の後継者不足の問題を含め、捕獲単価を上げるなどの方向はどうでしょうか。		
	○ 休廃止を検討	0	【改善のうえ継続】とした意見 ・国有林内の野生動物管理は、本来的に言えば国(林野庁)の仕事ではないかと思われます。この点について、林野庁の見解はどのようにになっているのでしょうか。八面山の捕獲については、改善の余地があると考えられます。		
	● 改善のうえ継続	2	・質問へのご回答ありがとうございました。植生回復は数年で結果が出るものでないことは理解しています。希少植物の復活など、捕獲と保護の成果が出れば、ぜひ広く周知していただきたい。		
事業No.	資料ページ	11	シカ個体数調査委託料(鳥獣対策課)	R2事業費	15,400 千円
R2-5-2	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	6	【現状のまま継続】とした意見 ・事業計画に沿った調査の実施は重要と思われます。		
	○ 事業を拡大	0	・鳥獣対策において、頭数調整はその戦略の柱となる。このため、頭数・生息状況の把握は正確である必要があるが、生息地域が県土の84%を占める森林地域であり、またそれが他県に隣接しているという悪条件での頭数・生息状況調査は、膨大な時間と労力を要し、費用も安くはない。精度を求めれば天井の無い取り組みであるため、今後も費用対効果を見極めつつ、適切な事業実施となるよう契約先との密な調整をお願いしたい。		
	● 事業を縮小	1	・シカの個体数管理を定点観測しながら、科学的根拠を持って取り組むことは必要で、全国的に見ても先進的な事例ではないか。こういった取り組み内容や成果について、もっと県民に広く周知し評価されても良い。		
	○ 休廃止を検討	0	【改善のうえ継続】とした意見 ・科学的エビデンスによる管理も大切と思うが、捕獲事業に対して重点をおいたらどうか。		
	○ 改善のうえ継続	0			

事業No.	資料ページ	13	希少野生植物食害対策事業(自然共生課)	R2事業費	14,902 千円
R2-6	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	6	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林域での野生鳥獣の頭数調整を進めているとはいえ、未だ過剰な状況にある。このような中で、希少な野生植物の保護は将来の選択肢を守る意味でも重要な取り組みである。毎年度、保護対象区を増やしつつ、保護区全体を保持しようとする取り組みには頭が下がるが、マンパワーには限界がある。総合評価において記述があるような、関係団体を巻き込んだ取り組みに繋げることは非常に重要と考える。連携の立ち上げには労力が必要ではあるが、今後の事業のために頑張っていたきたい。 <p>・譲与税でカバーしない領域なので継続。</p> <p>シカ対策全体については、①個体数管理(捕獲)、②防除(柵など)、③環境整備、の三位一体で取り組むべきだと言われており、森林環境税の活用についても、この3本柱で取り組む、という大きなストーリーづくりが今後必要ではないか。特に、現在は③の環境整備、つまりシカが人里や人工林に下りてこないよう、生息する森林環境の改善・森林の広葉樹林化といった取り組みが手薄なように思う。緑の回廊づくりといった事業はできないだろうか。</p>		
	○ 事業を拡大	0			
	● 事業を縮小	1			
	○ 休廃止を検討	0			
	○ 改善のうえ継続	0			
事業No.	資料ページ	15		環境学習推進事業(生涯学習課)	R2事業費
R2-7	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	2	<p>【事業を拡大】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校林にかかわる新規事業の定着とその成果を期待しています。 <p>【事業を縮小】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・譲与税を活用して、個別の授業などは今後は市町村が担っていく領域だろう。 県としてはカリキュラム・プログラム開発、派遣講師の育成など、教育の質を底上げしていくためのバックアップに取り組むべき。 <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ下では事業の実施は大変だったと思います。お疲れ様でした。 しばらく続くであろうコロナ禍下での見直しも必要かと思えます。 <p>・子ども地域学習推進事業については、子どもの主体性を活かした意欲的な取り組みであり、教育効果が高いものと思われるが、参加者数が極めて少ないことは問題であり、対策を要する。全体的に、参加人数が限定されるのはコロナ禍によるものと思われるが、コロナ対策は長期的なものとなることが見えてきている中で、対面実施以外の手法の模索が重要である。</p> <p>・コロナによる活動縮小を前提に成果目標をたて、事業運用していただきたいです。</p>		
	● 事業を拡大	1			
	● 事業を縮小	1			
	○ 休廃止を検討	0			
	● 改善のうえ継続	3			
事業No.	資料ページ	17		高校生森林環境理解事業(高等学校課)	R2事業費
R2-8	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	3	<p>【事業を拡大】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によっては、中学校とのカリキュラムの連続性が見込めるのではないのでしょうか。 <p>【休廃止を検討】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する学校がいつも固定されており、また今後は譲与税により市町村が担うべき事業と思うので、見直してほしい。 <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境教育に触れる機会が乏しくなりがちな中高生への支援事業は貴重である。コロナ対策下であっても、ここ数年の経験を活かして、高学年に見合った形で、単なる体験に止まらず、他を巻き込んだ活動を意識して今後も続けて欲しい。 <p>・評価シートで高い評価をしている理由がもう一つはつきりしません。評価の基準を明確にいただければと思います。</p>		
	● 事業を拡大	1			
	○ 事業を縮小	0			
	● 休廃止を検討	1			
	● 改善のうえ継続	1			

事業No.	資料ページ	19	高校生後継者育成事業(高等学校課)	R2事業費	305 千円
R2-9	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	5	【現状のまま継続】とした意見 ・コロナ対策を踏まえての地域内連携が行われており、その対応力に当事業の必要性の高さが感じられる。高知県における被災時の住民レベルでの対応力を向上させる取り組みでもあり、今後も生徒が参加しやすい方法の検討を重ねていただきたい。		
	● 事業を拡大	1	【事業を拡大】とした意見 ・地域によっては、中学校との連携が期待できないでしょうか。		
	○ 事業を縮小	0	【休廃止を検討】とした意見 ・これも譲与税により市町村が中心に担っていくべき事業ではないか。		
	● 休廃止を検討	1			
	○ 改善のうえ継続	0			
事業No.	資料ページ	21	山の学習支援事業(林業環境政策課)	R2事業費	17,535 千円
R2-10	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	4	【現状のまま継続】とした意見 ・作成されたハンドブックは、教育者側の意見を反映させたところがうまく生かされ、利用者の視点に立った良いハンドブックになっている。作成し配布したということにとどまることなく、これを契機に小中学校における森林環境教育の連携体制の基礎を作り上げていただきたい。		
	● 事業を拡大	1	・山の学習支援事業活用ハンドブックに感動しました。学びをつないでいくことの価値が、十分伝わる内容だと思います。ここに、幼児教育も位置づくと、より内容が豊かになると思います。例えば、植物と水と土の関係を栽培を通して、直接体験することは、森林について学ぶ土台になると思いますし、どこにでもできる環境です。また、葉っぱを集めて見立て遊びをしてみたり、触覚を通じたかわりが大事な視点になると思います。特に現代の子どもは、さまざまな物に触れる機会が圧倒的に少なく、たくましさに課題があります。この取り組みの大事さを思うと共に、さらなる発展を期待します。		
	○ 事業を縮小	0	・原木が一番消費されるのは住宅建築であり、将来の施主あたる子供たちに幼い頃から親しみを持ってもらうことが木育の一環になると思います。		
	○ 休廃止を検討	0	【事業を拡大】とした意見 ・Yamanaviはよく考えられていると思います。今後の利用計画が重要かと思います。		
	● 改善のうえ継続	2	【改善のうえ継続】とした意見 ・コロナによる活動縮小を前提に成果目標をたて、事業運用していただきたいです ・ハンドブックの取り組みはよい。今後はよりわかりやすく、動画の制作(youtube公開)等もしてほしい。		
事業No.	資料ページ	23	森林環境情報誌作成等委託料(林業環境政策課)	R2事業費	8,293 千円
R2-11	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	5	【現状のまま継続】とした意見 ・事業R2-1で述べたように、読者(大人)が自分の所有林管理にも関心が持て、具体的アクションを促すような記事も特集してほしい。		
	○ 事業を拡大	0	・とても感じがよく、分かりやすい情報誌だと思います。		
	○ 事業を縮小	0	【改善のうえ継続】とした意見 ・配布部数の増加によって目標達成(読者アンケートの回答数増加)を狙う方法は、費用対効果の上がりにくい方法であり、目標達成のためには部数を伸ばし続けるということにもなりかねない。配布先に明確な抜けがある場合を除き、部数を増やすよりも、紙面の充実により労力を割くことが望ましい。また、配布部数については、増刷の前に残部の状況を調査することも必要ではないか。総合評価にあるように、森林と県民とをつなぐ情報誌として、一定の役割を果たしてきており、今後も優良なツールとして活用してほしい。		
	○ 休廃止を検討	0			
	● 改善のうえ継続	1			

事業No.	資料ページ	25	森林環境学習フェア開催委託料(林業環境政策課)	R2事業費	1,148 千円
R2-12	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	2	<p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は少なくとも事業のあり方を再検討する必要があると思います。 ・交流の場として長年開催されてきた取り組みであり、総合評価に示されたように、Withコロナに合わせた開催方法の検討を行ってほしい。校庭の木々や庭木、公園など、コロナ対策下でも樹木と触れ合う機会はいくらでもあり、それらを通して独自に行い得る森林環境教育を発信したり、学びの発想自体を募集する形で県民を巻き込んで展開することも考えられる。様々な方法について検討していただきたい。 ・コロナもあり、街中で人を集めるのが難しい状況が続くのではないかと。会場を郊外の公園やキャンプ場などに小規模分散させて行うスタイルも検討してほしい。 ・人数を制限したより深い体験の提供や、オンラインだからこそ見ることができる現場の配信など、これまで通りのイベントではなく、コロナを前提としたイベント開催を模索していただきたいです。 ・コロナ禍が続くことが予想されるので、評価シートにあるように、WEBでの発信を通して事業をつないでいくことが、望まれると思います。 		
	○ 事業を拡大	0			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
● 改善のうえ継続	5				
事業No.	資料ページ	27	こうち山の日県民参加支援事業委託料(林業環境政策課)	R2事業費	2,713 千円
R2-13	集計数		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	5	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアブームを活かして、関連する企業や団体等との連携を模索していただきたいと感じました。 <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動が偏在してしまっている点が否めません。この状況でこれだけの実績を上げることは、大いに評価したい一方で、上にも指摘したボランティア活動の見直しが必要であるように思われます。 ・豪雨災害が身近なものに感じられるようになり、市民の生活環境の保全への意識は高まっている。森林環境の保全についても、土砂災害への危機感から関心を持ちやすくなっているものの、どう関わりを持てばいいのかが分かりにくい状況にある。森林保全ボランティアについては、「森・ヒト・こうち応援ネット」があるものの、認知度はまだまだ高くない。森林環境情報誌など他事業との連携をしつつ、知名度向上を検討していただきたい。森林の保全を支える木材利用を重視した社会の実現(木の文化県)には市民の理解が不可欠であり、その導入部をささえる当事業の役割をどう位置付け、どう強化していくかに期待したい。 		
	○ 事業を拡大	0			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
● 改善のうえ継続	2				
事業No.	資料ページ	29	こうち山の日推進事業費補助金(林業環境政策課)	R2事業費	5,484 千円
R2-14	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	4	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期の実績の伸び悩みは、コロナ対策の影響で様々なイベントが中止となったことが大きいですが、今後のイベントでの感染症対策は必須要件になり、開催側の対応力もそなわってくると考えられる。開催数については様子見せざるを得ない。他方で、事業目的である「こうち山の日」の認知度向上については、5年を超える取り組みを経てもそれほどの高まりがみられない。県民へのアプローチの見直しが必要ではないか。 <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いまは活動が難しいですが、継続すべき事業かと思えます。その際、成果の上がった事業(good practice)をきちんとフォローすることがあってもよいのではないかと感じています。 ・コロナによって、これまでと同じやり方では取り組みが進まない可能性が高いため、コロナ禍でも成果があがっている事例などを関係各所に伝えて、新しい啓発の可能性を模索していただきたいです ・コロナ禍を加味した事業の在り方が望まれると思います。 		
	○ 事業を拡大	0			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
● 改善のうえ継続	3				

事業No.	資料ページ	31	木育指導員活動支援事業(林業環境政策課)	R2事業費	602千円
R2-15	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	4	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のイベントでの感染症対策は必須要件になると考えられ、開催側の対応力が重要になる。このため、木育指導者の育成においても、感染症対策を念頭に置いた木育内容および運営体制についての学びを導入することが重要である。養成実績作りだけでなく、派遣実績を伸ばすことにも留意する必要がある。 ・木育くらぶPuuの活躍を期待します。 <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な活動かと思えます。しかし、実績はほとんどなしなので、今年度は活動のあり方を検討する必要があると思う。 ・コロナもあって事業実施に至っていないとのことだが、もう少し募集・周知の方法も改善してほしい。「木育」という言葉はまだまだ市民権を得ておらずマニアックな印象もあるため、関心のある団体でないととつきにくいのではないか。たとえばショッピングモールや建築業界といった民間企業にも周知して、気軽に取り組める活動であり、SDGsにからめて展開できるコンテンツであることを知らせてほしい。 		
	● 事業を拡大	1			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
	● 改善のうえ継続	2			
事業No.	資料ページ	33			
R2-16	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	4	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策にもうまく対応して事業を実施している。出前授業などで若者への教育に力点を置いていることも、今後大きく影響する取り組みである。 <p>【事業を拡大】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟の関心度が高まってきていると感じるため、その流れ加速させる取り組みに期待しています(当法人が運営するWEBサイトで最も閲覧数が多いのが狩猟の記事です) ・猟師の後継者不足は深刻ではないかと考えます。先日、本園の森で、園児の活動時間に、猫の餌で結果的に餌付けの状態になった若いイノシシが現れ、駆除を余儀なくされる事件がありました。そこでの一連の体験から、猟師不足が深刻であること、さらに、捕獲における(捌くことまでも含む)技の習得が、現実的な問題として大きいことを感じました。 技をもった猟師の育成へのアプローチとして、猟の魅力をさまざまな視点(畏をはる、捕獲する、食べるなど)から、十分に感じられるような研修制度が望まれると思います。 		
	● 事業を拡大	2			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
	○ 改善のうえ継続	0			
事業No.	資料ページ	35			
R2-17	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	6	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性戦略との関係についても整理してもらおうとわかりやすい気がします。 <p>○ 事業を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示パネルやパンフレットでの啓蒙活動は、展示して終わりというものが多く、アンケートを実施することで展示効果の測定を試みている点が評価できる。内容の濃い展示パネル・パンフレットが作成できており、今後も展示を継続してほしい。 <p>● 事業を縮小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園や植物園など、動植物に関心のある人が集まる場所でPRすると効果的だと思う。 <p>○ 休廃止を検討</p> <p>○ 改善のうえ継続</p>		
	○ 事業を拡大	0			
	● 事業を縮小	1			
	○ 休廃止を検討	0			
	○ 改善のうえ継続	0			
事業No.	資料ページ	37			
R2-18	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	6	<p>【現状のまま継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前はテーマを絞っていただいたことで、じっくりと議論がしやすくなった。今後も運営方法を改善していただきながら、有意義な会にしていきたいです。 <p>○ 事業を拡大</p> <p>○ 事業を縮小</p> <p>○ 休廃止を検討</p> <p>● 改善のうえ継続</p> <p>【改善のうえ継続】とした意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の資料配布、質問募集など、担当課・関係課の協力もあり改善が進められている。総合評価の通り、まだ改善の余地はあり、今後も継続した取り組みを希望する。 		
	○ 事業を拡大	0			
	○ 事業を縮小	0			
	○ 休廃止を検討	0			
	● 改善のうえ継続	1			

事業No.	資料ページ	39	林業大学校(短期課程)研修業務等委託料(森づくり推進課)	R2事業費	562千円
R2-19	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	6	【現状のまま継続】とした意見 ・ここでも、ボランティアなどの活動主体の実態が気になります。誰を、どのような人をターゲットとして、事業を展開しているかをさらに明確にできれば事業活動はさらに見通しがきくように思われます。		
	● 事業を拡大	1	・コロナ対策の影響で受講者数が抑えられてはいるものの、受講希望者は少なくない。森林内作業における事故は依然少なくなく、新規の参入者への安全講習機会の提供は非常に重要である。		
	○ 事業を縮小	0	・今後、譲与税との兼ね合いを考えると、人材育成については県立の林業大学校に集中投資して、カリキュラムを強化し、林業を学びたい人が全県から集まる拠点にしていくべき。		
	○ 休廃止を検討	0	【事業を拡大】とした意見 ・一人でも多くの方に、森林保全を担ってもらうために、大事な事業だと思います。		
	○ 改善のうえ継続	0			
事業No.	資料ページ	41	木の香るまちづくり推進事業費補助金(木材産業振興課)	R2事業費	44,510千円
R2-20	委員による評価		見直しの具体的方策に関する意見等		
	● 現状のまま継続	3	【現状のまま継続】とした意見 ・成果をもっとアピールできないかと思えます。		
	● 事業を拡大	2	【事業を拡大】とした意見 ・周知されれば、一定数ニーズのある事業であり、周知が着々と進んでいると思えます。		
	○ 事業を縮小	0	【改善のうえ継続】とした意見 ・高知県の広大な森林の健全な維持管理には、森林の機能を享受しているという認識およびそれを支えるための木材利用の意識向上が不可欠である。県民の意識改革のためには、可視化できることも重要であり、公共・非公共物件の木質化の持つ効果には期待したい。ただし、木材利用についての印象の悪化となるような劣化著しい用途への助成は回避すべきであり、無加工の外構材や劣化しやすい場所・用途には制限をかける必要があると考える。その他、メンテナンスの知識を普及することも重要であり、義務化は難しいまでも、参考資料の配布を検討してもいいのではないかと。		
	○ 休廃止を検討	0	・よい取り組みだと感じていますので、より発展させるためにも県産材の需要拡大が実現しているかどうか等のデータ分析も加えて取り組みを進めていただきたいです。		
	● 改善のうえ継続	2			